

地域づくりインターン事業

7月30日から8月20日にかけて、地域づくりインターン事業が行われ、首都圏を中心に6名の大学生がインターン生として、本町で農業体験や地域での聞き取り取材などを行いました。

そのインターン生の声を2号にわたって紹介します。

このインターン事業に対して、受け入れ家庭をはじめ町民の方々に多大なるご協力をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

藤田 翔（派遣期間：8月6日～8月20日）

インターン前は期待と同時に色々と不安があったのですが、受け入れ先の楠元さんをはじめ、錦江町のみなさんの温かいもてなしと人柄のおかげで、インターン初日からすくなじめることができました。二週間と短い間でしたが、アメリカでは体験できないことをたくさん体験させていただき、私にとって大変有意義な二週間でした。

地方が抱えている問題などについて色々と考えさせられることもあり、勉強させていただき、私なりに成長できたと思います。ある住民の方が言っていた「インターン事業交流はこれで終わりだけど、本当の交流はこれからだよ」の一言がとても印象的でした。今後ものんらかの形で錦江町と関わっていきたいと思っています。

本当に二週間、お世話になりました。



▲錦江園でお年寄りと交流



▲貫見さんの牛舎で畜産体験

新井 美穂（派遣期間：8月6日～8月20日）

二週間という期間において、錦江町の人々の笑顔、町の風景、美しい自然…全てが私のかけがえのないものになりました。

私は地域作りの大変さを現地で身を持って感じましたが、田舎だからと下向きにならず前向きな町民の方々の姿勢に心動かされました。これからも頑張っしてほしいです。

いつまでも温もりあるコミュニケーションを大切にし、「錦江町らしさ」がある発展に向かうことを祈っています。二週間ありがとうございました。また皆さんとお会いできること楽しみにしております。

小林 愛（派遣期間：8月6日～8月20日）

私は錦江町での2週間とても充実した毎日を過ごすことができました。

それは、錦江町のみなさんにとっても温かく接していただき、またそこでとてもいい刺激を受けることができたからだと思います。錦江町の大自然、人情、たくさんの体験、受け入れ先での幸せな日々によって、私は大きく成長でき、かえって来れました。

本当に錦江町のみなさんには感謝しています。

錦江町で感じたことを参考にして、これからは自分の専攻分野「観光」にうまく結びつけていき頑張っていきたいと思っています。

錦江町は私の中でふるさとのようなところであって、それは私にとって自慢のひとつでもあります。本当にどうもありがとうございました。



▲受け入れ家庭の松元さん家族と記念に